

風疹の予防接種を受けよう!

風しんは風しんウイルスにより感染します。

「先天性風しん症候群」のリスク

妊娠1カ月時に
風しんにかかると

50%以上

妊娠1カ月の女性が風しんにかかると、
生まれてくる子どもが
「先天性風しん症候群」になる
確率は、50%以上にも上ります。

妊娠しているか分からないほど初期の妊婦さんが感染すると、赤ちゃんの目や耳、心臓などに障害が出る「**先天性風しん症候群**」が生じるおそれがあります。妊娠中は風しんワクチンを受けられませんので、妊娠前に受けておく必要があります。

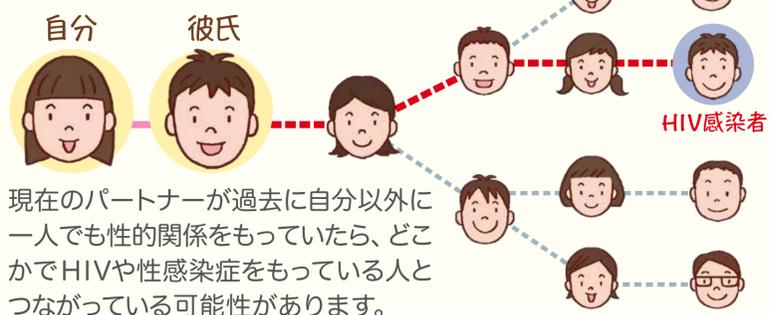
また、近年風しんに感染している人の多くは成人男性です。自分自身のために、そして、家族や友達のために、男性も女性も予防接種を受けることが大切です。

「先天性風しん症候群」は、
妊娠前の予防接種で防ぐことができます。
将来、赤ちゃんがほしいと思ったときの
ためにも予防接種を受けましょう。

「ただ一度の経験でも」

感染する可能性が 性感染症!

!**自分は大丈夫だと思いませんか?**



性感染症は若い人たちを中心に流行していますが、最近では、感染してもほとんど気づかない**無症状に近い病気が主流**になりつつあります。

感染を知らずに放っておくと男女ともに不妊の原因になる場合があります。

また、エイズを含め、多くの性感染症は母親から赤ちゃんに母子感染する可能性があり、先天奇形や失明などの障害の原因や死に至ることもあります。

感染予防には、NO SEX / SAFE SEX / SAFER SEXが大切です。もし、不安を抱えているのなら、恥ずかしがらずに医療機関を受診しましょう。

早期発見・早期治療が大切です。